

ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし

設定日：2013年8月30日
 収益分配：決算日毎

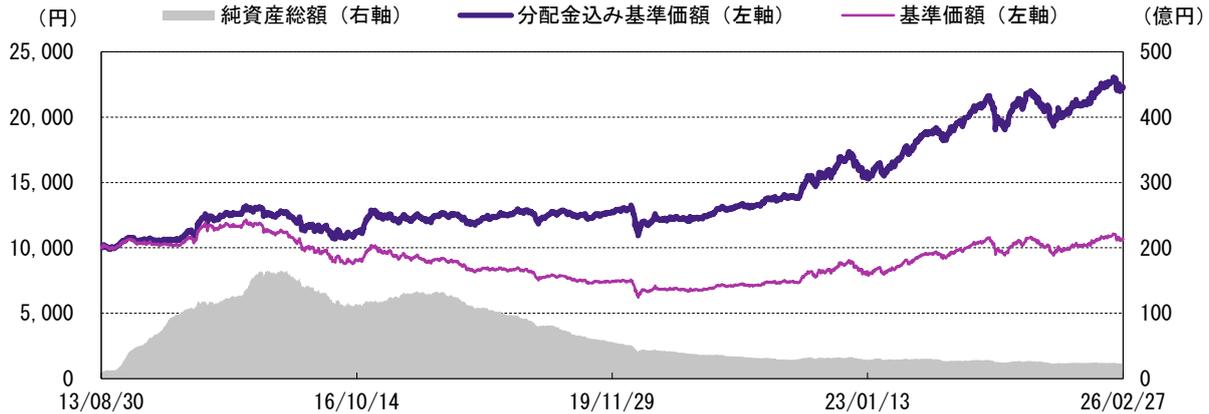
償還日：2028年5月15日
 基準価額：10,683円

決算日：原則毎月15日
 純資産総額：23.19億円

運用実績

※当レポートでは基準価額および分配金を1万口当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じる場合があります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

＜基準価額の推移＞



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したのとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

＜基準価額の騰落率＞

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
1.14%	-0.77%	6.57%	6.68%	36.02%	122.91%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したのとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

＜資産構成比率＞

PIMCO バミューダ・バンク・ローン・ファンド A-J (USD)	98.6%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

※対純資産総額の比率です。

＜分配金実績（税引前）＞

設定来合計	直近12期計	25・3・17	25・4・15	25・5・15	25・6・16	25・7・15
6,650円	240円	20円	20円	20円	20円	20円
	25・8・15	25・9・16	25・10・15	25・11・17	25・12・15	26・1・15
	20円	20円	20円	20円	20円	20円
		26・2・16				20円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。
 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

＜基準価額騰落の要因分解（月次ベース）＞

前月末基準価額	10,583円
当月お支払いした分配金	-20円
要	
インカムゲイン	59円
キャピタルゲイン	-144円
為替要因	218円
因	
その他	-13円
当月末基準価額	10,683円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
 ※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり

設定日：2013年8月30日
 収益分配：決算日毎

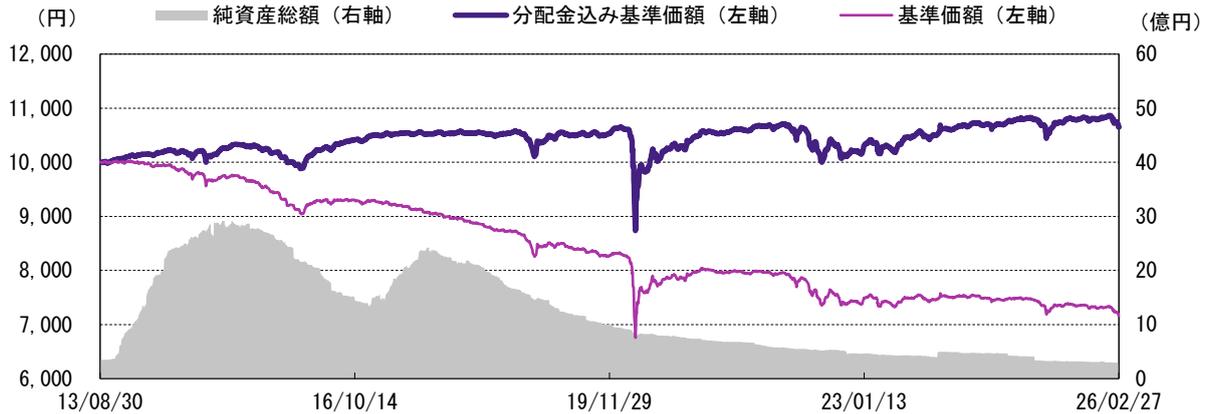
償還日：2028年5月15日
 基準価額：7,163円

決算日：原則毎月15日
 純資産総額：2.91億円

運用実績

※当レポートでは基準価額および分配金を1万円当たりで表示しています。
 ※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、
 それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。
 ※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

<基準価額の推移>



※分配金込み基準価額の推移は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したのとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
 ※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

<基準価額の騰落率>

1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
-1.16%	-1.36%	-1.28%	-1.21%	2.86%	6.49%

※基準価額の騰落率は、当ファンドに分配金実績があった場合に、当該分配金（税引前）を再投資したのとして計算した理論上のものである点にご留意ください。

<資産構成比率>

PIMCO バミューダ・バンク・ローン・ファンド A-J (JPY)	98.5%
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1%

※対純資産総額の比率です。

<分配金実績（税引前）>

設定来合計	直近12期計	25・3・17	25・4・15	25・5・15	25・6・16	25・7・15
3,405円	180円	15円	15円	15円	15円	15円
	25・8・15	25・9・16	25・10・15	25・11・17	25・12・15	26・1・15
	15円	15円	15円	15円	15円	15円
						26・2・16
						15円

※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

<基準価額騰落の要因分解（月次ベース）>

前月末基準価額	7,262円
当月お支払いした分配金	-15円
要	
インカムゲイン	40円
キャピタルゲイン	-99円
因	
その他	-26円
当月末基準価額	7,163円

※要因分解は、概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧下さい。
 ※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



PIMCO バミューダ・バンク・ローン・ファンド (M) のポートフォリオの内容

※ピムコジャパンリミテッドより提供された情報です。
※当外国投資信託における数値です。

<資産構成比>

バンクローン	85.3%
債券	10.5%
現金・その他	4.1%

※対純資産総額の比率です。
※「債券」にはCDXを含みます。

<格付別構成比>

格付	比率
B B B以上	0.0%
B B	24.1%
B	72.1%
C C C以下	3.8%
無格付	0.0%
平均格付	B

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。
※平均格付とは、データ基準日時点で当外国投資信託が保有している有価証券などに係る信用格付を加重平均したものであり、当外国投資信託に係る信用格付ではありません。

<国別構成比>

国名	比率
米国	92.4%
ドイツ	1.6%
オランダ	1.4%
英国	1.3%
ルクセンブルグ	1.1%
カナダ	1.1%
フランス	0.8%
その他	0.4%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

<通貨別構成比>

通貨	比率
米ドル	100.0%
ユーロ	0.0%
英ポンド	0.0%
その他	0.0%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

<業種別構成比>

業種	比率
ソフトウェア	14.5%
商業サービス	6.9%
小売	6.0%
コンピューター	5.7%
各種金融	5.4%
ヘルスケア (サービス)	5.1%
保険	4.8%
その他	51.7%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。

<ご参考情報>

デュレーション	0.24年
最終利回り	7.35%

※組入れバンクローンおよび債券部分についての数値です。
※最終利回りは信託報酬、手数料および税金などを考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものでも、将来得られる期待利回りを示すものでもありません。
※最終利回りは、バンクローンおよび債券を満期まで保有した場合の利回りです。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様に当ファンドへのご理解を高めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



<バンクローン上位10銘柄> (組入銘柄数：258銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	TWITTER TL B1 TSFR3M	コンピューター	1.6%
2	JANE STREET TL B TSFR3M	各種金融	1.4%
3	ALLIED UNIVERSAL TL B TSFR1M	商業サービス	1.3%
4	CULLIGAN TL B TSFR1M	家具	1.3%
5	COTIVITI TL B TSFR1M	ソフトウェア	1.2%
6	UKG TL B TSFR3M	ソフトウェア	1.2%
7	ATHENAHEALTH GROUP TL B TSFR1M	ソフトウェア	1.2%
8	PRIMO BRANDS TL B 1L TSFR3M	飲料	1.1%
9	FERTITTA ENTERTAINMENT TL B TSFR1M	宿泊	1.1%
10	BAUSCH & LOMB TL B TSFR1M	ヘルスケア (商品)	1.0%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

<債券上位10銘柄> (組入銘柄数：28銘柄)

	銘柄名	業種	比率
1	BEIGNET INVESTOR LLC SEC 144A	インターネット事業	1.1%
2	CERDIA FINANZ GMBH SR SEC 144A SMR	素材 (化学)	0.4%
3	RAVEN ACQUISITION HOLDIN SR SEC 144A SMR	商業サービス	0.4%
4	VIKING CRUISES LTD SR UNSEC 144A	レジャー	0.4%
5	VIRGIN MEDIA SECURED FIN SEC 144A SMR	メディア	0.3%
6	BOMBARDIER INC SR UNSEC 144A	航空宇宙	0.3%
7	GOEASY LTD SR UNSEC 144A	各種金融	0.2%
8	STAGWELL SR UNSEC 144A	広告	0.2%
9	LEVEL 3 FINANCING INC SR UNSEC 144A	通信	0.2%
10	FREEDOM MORTGAGE HOLD SR UNSEC 144A	各種金融	0.2%

※組入れバンクローンおよび債券の時価総額に対する比率です。
 ※CDXを除いています。
 ※個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
 ※上記銘柄については将来の組み入れを保証するものではありません。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



運用コメント

※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

◎市場環境

当月の米国バンクローン市況は下落しました。米国バンクローン市場では、人工知能（AI）による既存の事業モデルへの影響を巡る懸念から、月半ばにかけてスプレッドが拡大しました。その後も、中東情勢を巡る地政学リスクを背景にリスク回避姿勢が強まったことから、スプレッドはさらに拡大しました。月を通じてはスプレッドは拡大しました。スプレッドの拡大が主なマイナス要因となり、米国バンクローン市場は下落しました。セクター別では、化学などが市場平均を上回るパフォーマンスとなった一方、テクノロジーなどは市場平均を下回る結果となりました。

◎運用概況

当月の為替ヘッジなしのパフォーマンスは、米国のバンクローン市況が下落したことがマイナスとなったものの、米ドル建てバンクローンの利子収入を得たことや円安米ドル高の進行などがプラスとなり、基準価額は上昇しました。

当月の為替ヘッジありのパフォーマンスは、米ドル建てバンクローンの利子収入を得たことがプラスとなったものの、米国のバンクローン市況が下落したことやヘッジコストがかかったことなどがマイナスとなり、基準価額は下落しました。

当月のポートフォリオにおいては、テクノロジーセクターの銘柄選択効果がプラスに寄与しました。

◎今後の見通し

米国については、関税政策の影響により成長の減速および労働市場の軟化が見込まれるものの、財政刺激策に加え、継続的なAI投資や資産効果の改善が下支えとなり、2026年の成長率は2%程度で維持されると予想しています。インフレ率は、短期的にはエネルギー価格の上昇や建設需要の拡大などを背景に上振れリスクがある一方、関税の影響が薄れることで緩やかに低下する見通しです。金融政策は、FRB（米連邦準備制度理事会）次期議長の下で年後半に1～2回の利下げを見込み、2026年末時点の政策金利は3%近辺と予想しています。

バンクローン市場においては、米国で利下げが進行していることはローンの利払い減少につながるため、発行体の財務面にとってプラス材料となります。デフォルト率については長期平均と同程度の水準にとどまると予想してきたものの、トランプ政権の政策運営が、リスク性資産の動向に与える影響については引き続き留意が必要と考えています。

上述の見通しの下、投資妙味が高いセクターや銘柄を厳選して投資を行う方針です。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



ファンドの特色

1. 主として、米国の優先担保付バンクローン（貸付債権）に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざします。

- 流動性などを考慮して、米国のハイイールド社債などへの投資を行なう場合があります。
- 毎月15日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行ない、毎決算時に収益分配を行なうことをめざします。
※分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行わない場合もあります。

2. 「為替ヘッジなし」と「為替ヘッジあり」の2つのコースがあります。

- 「為替ヘッジなし」では、為替変動の影響を受け、円高時は為替差損となりますが、円安時には為替差益の獲得が期待できます。
- 「為替ヘッジあり」では、為替ヘッジを行なうことにより、為替変動リスクの低減を図ります。
※為替ヘッジを行なう際、対象通貨の短期金利より円の短期金利が低い場合には、為替ヘッジコストがかかります。
また、必ずしも為替変動リスクが完全に排除されるとは限りません。なお、両通貨の金利水準によっては、為替ヘッジプレミアムとなる場合があります。
※販売会社によっては、一部のコースのみの取扱いとなる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

3. PIMCOの運用力を活用し、収益の獲得をめざします。

- 当ファンドの運用の指図は、PIMCO（パシフィック・インベストメント・マネジメント・カンパニー・エルエルシー）の日本拠点である「ピムコジャパンリミテッド」が行ない、主要投資対象である外国投資信託の運用は、PIMCOが行ないます。

市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。



■お申込みメモ

商品分類	追加型投信／海外／その他資産(バンクローン)
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年5月15日まで(2013年8月30日設定)
決算日	毎月15日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 ※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。 換金申込受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した価額
換金価額	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日または
購入・換金申込不可日	ニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込み(スイッチングを含みます。)の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。
課税関係	原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。 ※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 ※公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合に少額投資非課税制度(NISA)の適用対象となります。 ※各ファンドは、NISAの対象ではありません。 ※配当控除の適用はありません。 ※益金不算入制度は適用されません。

■手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

<申込時、換金時にご負担いただく費用>

購入時手数料 購入時の基準価額に対し3.3%(税抜3%)以内

※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

<<ご参考>>

(金額指定で購入する場合)

購入金額に購入時手数料を加えた合計額が指定金額(お支払いいただく金額)となるよう購入口数を計算します。

例えば、100万円の金額指定で購入する場合、指定金額の100万円の中から購入時手数料(税込)をいただきますので、100万円全額が当ファンドの購入金額とはなりません。

※上記の計算方法と異なる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

(口数指定で購入する場合)

例えば、基準価額10,000円のときに、購入時手数料率3.3%(税込)で、100万口ご購入いただく場合は、次のように計算します。

購入金額=(10,000円/1万口)×100万口=100万円、購入時手数料=購入金額(100万円)×3.3%(税込)=33,000円となり、購入金額に購入時手数料を加えた合計額103万3,000円をお支払いいただくこととなります。

※販売会社によっては、一部のファンドのみの取扱いとなる場合やスイッチングが行なえない場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

換金手数料

信託財産留保額 換金時の基準価額に対し0.3%

<信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用>

運用管理費用 純資産総額に対し年率1.738%(税抜1.58%)が実質的な信託報酬となります。

(信託報酬)

その他の費用・手数料

目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。

組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

■委託会社、その他関係法人

委託会社 アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

投資顧問会社 ピムコジャパンリミテッド

受託会社 三井住友信託銀行株式会社

販売会社 販売会社については下記にお問い合わせください。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

[ホームページ] www.amova-am.com

[コールセンター] 0120-25-1404 (午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。)

■お申込みに際しての留意事項**○リスク情報**

投資者の皆様は、投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に優先担保付バンクローン（貸付債権）および債券を実質的な投資対象としますので、優先担保付バンクローン（貸付債権）および債券の価格の下落や、優先担保付バンクローン（貸付債権）の債務者、優先担保付バンクローン（貸付債権）および債券の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】

・優先担保付バンクローン（貸付債権）は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、裏付けとなるローンの内容、種類、残存期間、利払いまでの期間および利率の条件などにより個別のローンごとに異なります。

・公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】

・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券等の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

・優先担保付バンクローン（貸付債権）は、公社債などの有価証券に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。また、資産の転売についても契約上制限されていることがあり、ファンドの資金流動性に影響を与え、不測の損失を被るリスクがあります。

【信用リスク】

・優先担保付バンクローン（貸付債権）の債務者が倒産等に陥り、利払いの遅延や元本の返済が滞るデフォルトが発生した場合、あるいはこうした状況に陥ると予想される場合、優先担保付バンクローン（貸付債権）の評価が下落（評価がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、担保の回収等により弁済されますが、担保価値の下落等によって、投資元本に対して投資した資金が回収できないリスクがあります。

・優先担保付バンクローン（貸付債権）の主幹事行はローンの元利金を回収する責務を負っているため、主幹事行の破産や倒産等により、元利金の受け取りが遅延する可能性があります。

・公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

・一般にハイイールド債券は、上位に格付された債券と比較して、利回りが高い反面、価格変動が大きく、デフォルトが生じる可能性が高いと考えられます。

【為替変動リスク】

◆為替ヘッジなし

投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行わないため、当該資産の通貨の対円での為替変動の影響を受けます。一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

◆為替ヘッジあり

投資対象とする外国投資信託の組入資産については、原則として為替ヘッジを行ない、為替変動リスクの低減を図ります。ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。なお、為替ヘッジを行なうにあたっては、円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低い場合、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。為替および金利の動向によっては、為替ヘッジに伴うヘッジコストが予想以上に発生する場合があります。

【期限前償還リスク】

・優先担保付バンクローン（貸付債権）において、予定される利息および元本の支払いの他、債務者の選択による期限前弁済を認めることがあり、この場合は、予定されていた利払いの一部が得られないことがあります。

【期限前償還に伴う再投資リスク】

・優先担保付バンクローン（貸付債権）が期限前償還された場合には、償還された金銭を再投資することになりますが、金利低下局面においては、再投資した利回りが償還まで持ち続けられた場合の利回りより低くなる場合があります。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

○その他の留意事項

・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、アモーヴァ・アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。

・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡しますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社**
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

●ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジなし

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長 (金商) 第3号	○	○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第15号	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○		○
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第117号	○		○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○
株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3198号	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第11号	○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○		
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第128号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○	○
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第11号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第15号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○
株式会社宮崎銀行	登録金融機関	九州財務局長 (登金) 第5号	○		
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第38号	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第12号	○		○
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第6号	○		○
株式会社UI銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第673号	○		
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第611号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第8号	○		

●ピムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型)為替ヘッジあり

投資信託説明書(交付目論見書)のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本 投資顧問業 協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種 金融商品 取引業協会
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第633号	○		
今村証券株式会社	金融商品取引業者	北陸財務局長 (金商) 第3号	○	○	
岩井コスモ証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長 (金商) 第15号	○	○	
SMB C日興証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第2251号	○	○	○
株式会社SBI証券 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第44号	○		○
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第10号	○		○
株式会社北九州銀行	登録金融機関	福岡財務支局長 (登金) 第117号	○		○
株式会社きらぼし銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○
株式会社きらぼし銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第53号	○		○
きらぼしライフデザイン証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第3198号	○		
株式会社滋賀銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第11号	○	○	
静銀ティーム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第10号	○		
第四北越証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第128号	○		
東海東京証券株式会社 ※右の他に一般社団法人日本STO協会にも加入	金融商品取引業者	東海財務局長 (金商) 第140号	○	○	○
株式会社トマト銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第11号	○		
株式会社南都銀行	登録金融機関	近畿財務局長 (登金) 第15号	○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第165号	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第61号	○	○	○
株式会社武蔵野銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第38号	○		
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第12号	○		○
株式会社山口銀行	登録金融機関	中国財務局長 (登金) 第6号	○		○
株式会社UI銀行 (委託金融商品取引業者 きらぼしライフデザイン証券株式会社) (オンラインサービス専用)	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第673号	○		
株式会社ゆうちょ銀行	登録金融機関	関東財務局長 (登金) 第611号	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長 (金商) 第195号	○	○	○
ワイエム証券株式会社	金融商品取引業者	中国財務局長 (金商) 第8号	○		

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。
 ※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

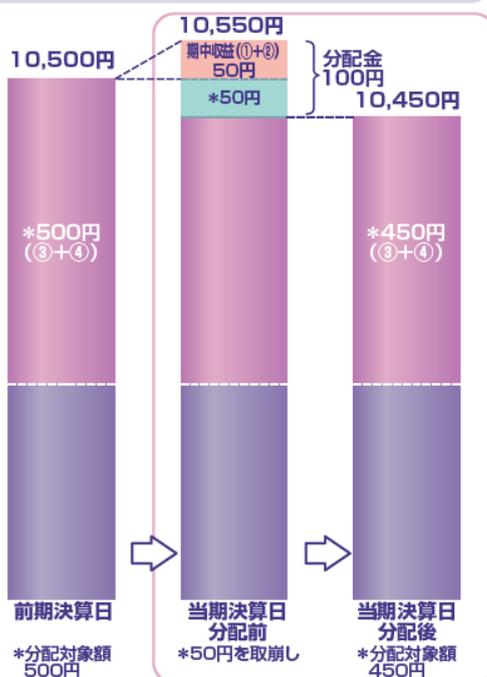
投資信託で分配金が支払われるイメージ



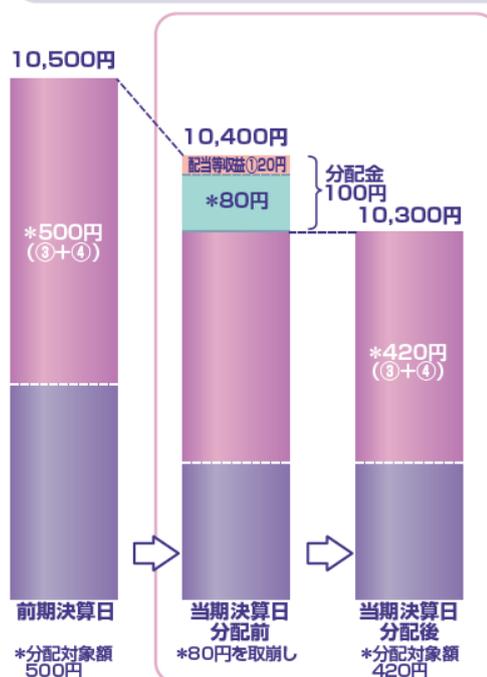
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

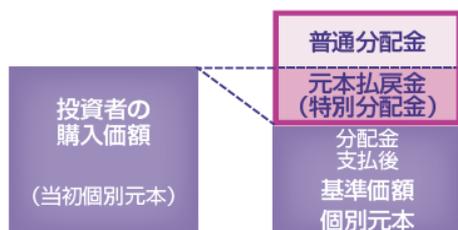


(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

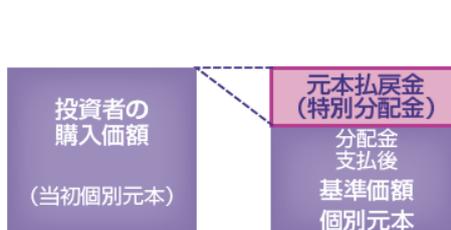
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金（特別分配金）は実質的には元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金（特別分配金）部分は非課税扱いとなります。

- ・普通分配金：個別元本（投資者のファンドの購入価額）を上回る部分からの分配金です。
- ・元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、（特別分配金）元本払戻金（特別分配金）の額だけ減少します。